

愛知県蒲郡市

独自の技術開発体制と高齢者も活躍する 人材の適材適所で高付加価値製品を生み出す

同社は繊維ロープの総合メーカーとして、独自技術で開発したモノフィラメント原糸から、多種多様な素材や撚り構成を持つ合成繊維ロープを製造販売している。農業業界・水産業界・船舶業界・建設業界・レジャー業界等あらゆる産業分野で活用され、用途も多岐にわたっており、新たなロープのオーダーメイド生産体制を確立している。このようなことから、多くの分野にて信頼と実績を築いている。

●所在地	愛知県蒲郡市形原町北戸甫井11の1	●設立	1947年
●電話/FAX	0533-57-3151/0533-57-3155	●資本金	7,000万円
●URL	http://www.kaneyaseiko.co.jp/	●従業員数	123人
●代表者	代表取締役 牧原 昇司		



生産性向上

原糸の高強度化と耐摩耗性の強化による製品付加価値の向上

産業資材の様々な分野で、より高強度で、擦れに強く、耐候性能力の高いロープが求められている。そのため、原糸の延伸工程で原糸中の繊維が動き易くする温度（熱量）と、繊維の並びを引揃えられる引張割合（延伸倍率）が重要となる。同社は、平成30年に多段延伸装置を改良した同社オリジナルのモノフィラメント製造装置を導入し、付加価値向上を実現した。また、あいち産業科学技術総合センター三河繊維技術センターとも共同研究を継続しており、より付加価値の高い繊維ロープを探求している。



高付加価値を追求した研究開発

建設による紡糸製造部移転と業務効率化

同社は、平成30年に隣接する西尾市に新工場を建設して原糸製造を移転し、モノフィラメントに対応したフレキシブルな生産体制を確立した。旧紡糸工場では、作業スペースの確保や機械の配置に限界があったが、移転後は作業スペースを十分に確保し、作業工程の流れに沿った機械の配置等を行うことによって、非効率であった工程が改善され、大幅に業務の効率化が進んだ。



新工場の移転による業務の効率化

年代・能力に合わせた人員配置と地域高齢者の雇用創出

同社の従業員は、パートを含め18才から75才まで幅広い人材を採用しており、それぞれの年代と能力に合わせた適材適所での人員配置を行っている。同社に10年以上在籍する従業員と経験の浅い従業員がペアを組んで業務を行うことで、社内における技術承継がスムーズに行われる体制を取っている。本社工場を構える蒲郡市は繊維ロープ産地であることからロープ製造を経験していた高齢者も多く、内職を依頼することがあり、地域での雇用創出にも貢献している。



地域高齢者の雇用創出

ものづくり